

## 現行計画の評価



## I 市民全般に関わる施策

### 施策I 庁内・地域での連携

#### 【1 自殺対策関連会議の開催】

##### ＜障がい福祉課＞

##### ◆実施状況◆

- ①新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度に初めて自殺対策推進協議会を開催しました。
- ②自殺対策の庁内連絡会を開催し、国、県の動向や自殺の現状と課題、各課の取り組みなどを共有しました。

##### ◇今後の方針◇

- ①自殺対策推進協議会については、年1回の開催に努め、各課の取組に対する評価、検証を実施します。
- ②今後も継続して庁内連絡会を開催し、課題や情報を共有することで、全庁的に取り組むことの意識の向上を図ります。

#### 【2 自殺対策に関連する連携体制の整備】

##### ＜全課・いのちの電話等＞

##### ◆実施状況◆

- ①庁内での連絡会にて、関係課と現状についての情報共有はできましたが、市民との協働についての協議には至りませんでした。

##### ◇今後の方針◇

- ①各課の取り組みを共有し、より効果的な取り組みができるよう連携をしていきます。

##### ＜障がい福祉課＞

##### ◆実施状況◆

- ①関係課に市の相談窓口が記載されたチラシを配布しました。
- ②湖南地域サービス調整会議進路部会、作業部会での実態調査などでニーズや課題の把握を行ったほか、必要な人への新設のグループホームの情報提供などを行いました。

##### ◇今後の方針◇

- ①適切な相談窓口につながるよう、周知や啓発に努めます。
- ②今後不足することが予測される重心通所施設の整備に向けた調査や協議を広域で行います。

### <健康増進課>

#### ◆実施状況◆

- ①健康相談や電話相談等の内容に応じて関係機関と連携を図り、必要な支援を行いました。また、困難ケースについては、課内や関係機関と協議を行い、必要な支援につなげることができました。

#### ◇今後の方針◇

- ①健康相談や電話相談を行い、関係機関と密に連携を行い、必要な支援を実施していきます。

### <長寿福祉課>

#### ◆実施状況◆

- ④地域ささえあい推進員（生活支援コーディネーター）と連携して、地域の支え合いの仕組みづくりを支援しました。

#### ◇今後の方針◇

- ④今後も継続して地域ささえあい推進員（生活支援コーディネーター）と連携し、地域の状況把握と関係づくりを行います。

### <子育て支援課>

#### ◆実施状況◆

- ②児童館を各小学校区に1か所整備し、子どもの居場所づくりや各種事業に取り組みました。

#### ◇今後の方針◇

- ②今後も継続して子どもが安心して過ごせる環境づくりに取り組みます。
- ②児童館の平日休館日に、子育て支援を目的に活動する団体に貸館し、親子の居場所や他の親子とも交流できる場として提供することで、より多くの利用者の心の安定につなげます。

### <社会福祉課>

#### ◆実施状況◆

- ②民生委員児童委員の協力を得ながら、地域住民に寄り添い安心して暮らせるよう支援連携を図りました。
- ③各学区民生委員協議会において、毎月定例会議を開催し、様々な課題について連携を図りました。
- ④中学校区毎に1名のコミュニティソーシャルワーカーを配置し、地域の支えあいの仕組みづくりを支援しました。

#### ◇今後の方針◇

- ②④今後も継続して民生委員児童委員やコミュニティソーシャルワーカーと連携し、地域住民が安心して暮らせる環境づくりや、地域住民の実態や福祉サービスの需

要の把握に取り組みます。

- ③民生委員児童委員の地域での相談等の活動により、適切な福祉サービス利用につなげていきます。

#### ＜自治振興課＞

##### ◆実施状況◆

- ③地域振興協議会等の地域コミュニティ団体に対して、補助金交付を通じて住民交流活動への支援を行いました。

##### ◇今後の方針◇

- ③コロナ禍により停滞している地域福祉活動について、地域振興協議会等の地域コミュニティ団体に対して、引き続き住民交流活動への支援を行っていきます。

⇒自殺対策の総合的な推進に向け、自殺対策推進協議会を開催し、計画の取組状況に対する評価、検証を実施する必要があります。

庁内連絡会を開催し、自殺対策の現状等に関する情報共有を実施できました。庁内で構築されつつあるネットワークを庁外に向けて広げていく必要があります。

また、各関係課において、福祉に係るニーズ調査や各種相談、地域支え合い推進員、コミュニティソーシャルワーカーとの連携を通じ、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう取組を展開することができています。これらの連携・取組を継続するとともに、各分野の連携を強化し、悩みや困難を抱えている人を取り残さない、重層的な支援体制の構築を図る必要があります。

## 施策2 自殺対策の人材育成

### 【1 研修機会の充実】

#### <障がい福祉課>

##### ◆実施状況◆

- ④新型コロナウイルス感染症の影響で、ゲートキーパー研修は人数を減らして実施しました。

##### ◇今後の方針◇

- ④出前講座等を利用するなど、様々な機会を通じてゲートキーパー研修を実施します。

#### <人事課>

##### ◆実施状況◆

- ①自殺対策連絡会委員（関係課）と居場所づくりに関わっている NPO 職員等、地域の支援者を対象にゲートキーパー研修を実施しました。
- ③メンタル不全の職員への対応については、産業カウンセラーとの契約により相談窓口を設置し、相談を実施しました。メンタルヘルス研修については、課長補佐級職員を対象に実施しました。

##### ◇今後の方針◇

- ①全庁的に自殺対策を推進する意識の向上を図り、ゲートキーパー研修を引き続き実施していきます。
- ③相談窓口を引き続き設置します。また、メンタルヘルス研修を毎年階層別に実施します。

#### <危機管理課>

##### ◆実施状況◆

- ②3月の自殺対策強化月間において、自殺予防のためのチラシを配布しました。コロナ禍において街頭啓発等を実施できなかった年もあり、窓口で設置しました。

##### ◇今後の方針◇

- ②継続して自殺対策に関連する資料の配布や啓発を行っていきます。

⇒様々な機会を活用して自殺対策に関する情報を発信しているほか、関係課の職員や居場所づくりに関わる職員に対し、ゲートキーパー研修を実施しました。今後も啓発を継続するとともに、市全体でゲートキーパーを育成し、自殺対策の人材育成を進めていく必要があります。

### 施策3 市民に対する啓発と周知

#### 【1 メディア等を活用した普及啓発の実施】

##### ＜障がい福祉課＞

##### ◆実施状況◆

- ①②毎年3月の自殺対策強化月間にあわせて、パンフレットを作成し、全戸配布しました。また9月の自殺予防週間と3月には県から配布された啓発グッズとチラシを関係各課、出先機関やコミュニティセンターなどの窓口に設置しました。また、市のホームページや Facebook も活用し、相談窓口を啓発しました。

##### ◇今後の方針◇

- ①②様々な機会を通じて自殺予防に関する情報を継続して発信します。

#### 【2 様々な分野と連携した普及啓発】

##### ＜健康増進課＞

##### ◆実施状況◆

- ①栗東市健康推進員を対象に研修を実施しました。また、明治安田生命と協定締結し、明治安田生命から講師を招いて研修会を開催することができました。

##### ◇今後の方針◇

- ①今後もこころの健康づくりに関する啓発を行います。令和5年度は商工観光労政課と協議して、働き盛り世代を対象に実施予定です

##### ＜人権政策課＞

##### ◆実施状況◆

- ②大宝西ふれあい解放文化祭・じんけん広場ふれあい文化祭等のイベントの中で、人権・命の大切さ等について、パネル展示および啓発品の配布を行いました。新型コロナウイルス感染症等の影響もあり、代替啓発事業である大宝西の風船とばしでは、関係団体へメッセージ作成等と呼びかけ、また、小柿の文化祭では、パネル展に出展し、講座に職員が参加しました。

- ③8月・12月・2月と人権関係の月間や週間に合わせるなどして、命や人権の大切さを啓発するための講演会等のイベントを開催しました。

##### ◇今後の方針◇

- ②様々な人権課題について啓発の機会を用意し、地域において主体的に人権の学びを深めていただくことができたものの、参加者の固定化が見られるため、さらに参加を呼びかけていく必要があります。

- ②「人権尊重と部落解放をめざす市民のつどい」、栗東市人権教育地域ネット事業「中学校区合同人権・同和教育全体研修会」の感染対策を工夫して実施します。

- ③講演会、人権啓発紙発行事業、人権擁護委員会による人権教室を継続して実施します。園が新設された場合などは、新たな実施対象として追加します。

### ＜学校教育課＞

#### ◆実施状況◆

- ③就学前、小学校、中学校・県立高等学校の各部会で、発達段階に応じて人権・同和教育や啓発を実施できました。

#### ◇今後の方針◇

- ③就学前、小学校、中学校・県立高等学校の各部会で、発達段階に応じて取り組みを実施します。

### ＜商工観光労政課＞

#### ◆実施状況◆

- ③事業所向け研修会の実施のほか、事業所内研修で活用可能な視聴覚資料（DVD、展示パネル）の貸出しや、企業訪問時に人権に関するチラシ等の配布を行いました。

#### ◇今後の方針◇

- ③多くの事業所で研修等の取り組みが実施されるよう、幅広い人権・同和問題への取り組みを継続して啓発します。令和5年度においては、健康増進課と協議し、事業所対象に「こころの健康づくり講演会」を実施予定です。

### ＜幼児課＞

#### ◆実施状況◆

- ③園の職員を対象に、人権・同和研修を実施しました。また、園において職員と保護者を対象として人権研修を実施しました。

#### ◇今後の方針◇

- ③職員人権・同和研修をしたことが日常の人権・同和保育としっかりつながり、根付いていくように研修を重ねていきます。
- ③各園においても誰もが生きやすい社会を目指し、日常の当たり前に目を向けて、様々な人権課題について語り合うことが今後必要です。

### ＜自治振興課＞

#### ◆実施状況◆

- ④女性に対する暴力をなくす運動についての認知を高めることで、DV防止の啓発に取り組み、意識醸成につなげることができました。
- ④自殺予防やDV、性犯罪・性暴力についてさらに周知し、啓発の実施をしました

#### ◇今後の方針◇

- ④自殺予防やDV、性犯罪・性暴力についてさらに周知し、継続して啓発を実施します。
- ④窓口やセミナー開催時、生理用品の配布時等に相談窓口の案内チラシを配布し、啓発をしていきます。

#### <子育て支援課、こども家庭センター>

##### ◆実施状況◆

- ④母子・父子自立支援員や家庭児童相談員、また担当職員により、個々の相談事例に応じて、適切に情報提供を行うことができました。
- ④DVの相談対応等において、必要に応じ、DV 防止啓発資料と共に自殺対策に関連する資料を配布しました。

##### ◇今後の方針◇

- ④継続して個々の事例に応じた相談事業等を実施します。
- ④表情等から自殺の可能性が考えられる相談者には、必要に応じ関係部署と連携するなどの対応とあわせ、対応者自身の資質向上を図る必要があります。

#### <交通政策課>

##### ◆実施状況◆

- ⑤小学校などで交通安全教室を開催しました。

##### ◇今後の方針◇

- ⑤引き続き、交通安全意識の高揚に努める必要があります。
- ⑤当該支援を要する可能性のある方を対象とした教室・研修等の場合、リーフレット等の配付を検討します。

#### <保険年金課>

##### ◆実施状況◆

- ⑥市広報紙などで福祉医療制度の情報を発信し、制度対象者を受給へとつなぐことで、受診時の負担軽減を図り、必要な医療受診を支援することができました。
- ⑥転入者へ配布している「福祉医療のしおり」に精神科通院医療について記載を追加しました。

##### ◇今後の方針◇

- ⑥継続して市広報紙や市 HP 等を通じて制度についての周知を図り、対象者を受給へとつなぐことで、病院受診時の自己負担を軽減し、生活の安定につなげます。

⇒各種イベントや市ホームページ等を活用して、自殺対策や相談先、支援制度に関する情報を発信しています。継続して情報を発信するとともに、市ホームページの内容の更新や、各種イベントの開催方法や情報発信方法を工夫することで、より多様な人々に情報を届ける必要があります。

## 施策4 生きることの支援

### 【1 生きることの促進要因を増やす取組】

#### <ひだまりの家>

##### ◆実施状況◆

- ①コロナ禍で時間制限はあるものの、絵本や児童書、人権図書を中心にした図書コーナー「ゆめのくに」や教養娯楽室、コミュニティホール等、ゆったりと過ごせるスペースを開放しています。各種講座など主催事業も再開することができました。

##### ◇今後の方針◇

- ①施設開放の利用者および主催事業への参加者は、コロナ禍の前に比べて減少したままであり、利用者等を増やすため、様々な方法による情報提供に努めます。

#### <長寿福祉課>

##### ◆実施状況◆

- ①地域の拠点となるつどいの場を運営する通所介護事業所等を支援しました。

##### ◇今後の方針◇

- ①地域の拠点となるつどいの場について、事業所主体で行うつどい場に認知症カフェもあります。認知症になっても住みやすい地域づくりを推進するため、地域集いの場事業を、認知症カフェ補助事業に統合します。

#### <子育て支援課>

##### ◆実施状況◆

- ①各児童館において、保護者が集い、交流できる場として、各種子育て講座などの事業を実施しました。
- ①つどいの広場等を通して、子育て世代の孤立を防ぎ、子育てへの楽しさを親子同士で共有できる取り組みを行いました。

##### ◇今後の方針◇

- ①子どもや保護者が触れ合う機会の充実に努めます。
- ①子育て支援に関わる団体との連携を深め、各種事業等を通してつながりが持てる場を継続的に創出する必要があります。

#### <幼児課>

##### ◆実施状況◆

- ①園において日々の送迎時に保護者と子育てに関する話をし、相談の機会づくりを進めました。また、クラス懇談会や園の行事等で保護者同士の交流の機会をつくりました。
- ①コロナ禍前のような交流は難しいものの、戸外での自然体験等、感染対策をしながら世代間交流を実施しました。

◇今後の方針◇

- ①感染症対策に取り組みながら、子どもと保護者、地域及び多世代が交流する機会の充実に努めます。

＜学校教育課＞

◆実施状況◆

- ①子どもに居場所を提供する団体との連携協力を推進し、支援を必要とする子どもを居場所へとつなぐことができました。
- ①子どもに居場所を提供する団体との連携協力を推進し、団体間のネットワークの構築を行いました。

◇今後の方針◇

- ①市スクールソーシャルワーカーと連携し、居場所づくりに努め、生徒に対する切れ目ない支援を進めます。

＜生涯学習課＞

◆実施状況◆

- ①新型コロナウイルス感染症の影響で一部中止した講座もありますが、各コミュニティセンターや児童館などを会場に講座を開催しました。

◇今後の方針◇

- ①参加者のニーズに応じた講座の実施に努めます。

＜障がい福祉課＞

◆実施状況◆

- ②毎週木曜日にサロンを実施し、コロナ禍での交流や調理実習などで参加者同士の交流に制限がありましたが、参加者とお互いの理解を深める方法について検討し、実施しました。また、交流の場の必要性を再確認できました。

◇今後の方針◇

- 徐々に交流やイベントを増やし、お互いの理解を深めるよう努めます。

【2 生きることの阻害要因を減少させる取組】

＜人権政策課＞

◆実施状況◆

- ①人権擁護委員による「人権いろいろ相談」を実施し、人権に関わる悩みや不安を和らげました。

◇今後の方針◇

- ①4月と1月を除いた年10回、人権擁護委員による人権いろいろ相談を継続して実施します。また、人権いろいろ相談と併せて電話やインターネットでも相談が可能な関係機関の相談窓口の周知に継続的に努めます。

### <健康増進課>

#### ◆実施状況◆

- ②大腸がん・乳がん・子宮頸がん・胃がん（胃内視鏡検査）検診・肝炎ウイルス検査・メタボ予防健診・結核検診・特定健康診査・後期高齢者健康診査については、委託医療機関にて実施しました。

#### ◇今後の方針◇

- ②継続してけん診の受診を促進し、生活習慣病やがん（大腸、胃、肺、子宮、乳）を早期発見することで、早期治療につながり重症化を予防するとともに、自身の健康管理につなげます。

### <保険年金課>

#### ◆実施状況◆

- ②疾病の早期発見・早期治療と重症化予防のため、国民健康保険被保険者に特定健康診査を実施し、対象者の健康意識を高め、受診者の健康管理を支援することができました。
- ⑤資格者証の交付を通じて対象者と接する機会を持ち、税務課ほか相談窓口と連携しながら受診等支援することができました。

#### ◇今後の方針◇

- ②さらなる受診率向上のため、早期受診事業を展開する。また、集団健診において新たに胃がん・子宮がん・乳がんの検診を可能とし、受診機会の拡大に努めます。
- ⑤今後も税務課等と連携を図り、資格者証対象者についても必要な医療が受けられるように健康的な生活の基盤の安定につなげます。

### <障がい福祉課>

#### ◆実施状況◆

- ③相談支援の中で保健所や医療機関など適切な支援機関につなぎ、専門的な相談支援が必要な場合は、専門機関への相談し、アドバイスを受けるなど、適切な支援を受けられるように努めました。
- ④就労支援を通じて、経済的な困窮や発達障がいなどの課題に対して、他課や滋賀県発達障害者支援センターなどの適切な相談窓口や支援機関と連携して対応しました。

#### ◇今後の方針◇

- ③今後も必要に応じて他課や保健所、医療機関などと連携し、相談支援の中で適切な支援先につなぎます。
- ④就労支援を通じて、適切な相談窓口や支援機関へのつなげ、適切な支援を行います。

### <住宅課>

#### ◆実施状況◆

- ⑥定期募集により、住宅困窮者に対する居住環境と新型コロナウイルス対応として住

居を確保することができました。

⑦耐震性の低い住宅の所有者に、耐震補強の方法や工事費概算額、補助金の概要を具体的にお知らせし、また、補助金を活用した耐震改修が実施されるなど、耐震化の促進を図ることができました。

⑦図書館でのパネル展示や出前講座の実施、ショッピングセンターでのブース出展を実施し、耐震対策について啓発しました。

◇今後の方針◇

⑥生活困窮や低収入等の課題を抱える住宅困窮者に対し、公営住宅等を住宅セーフティネットとし、居住環境を提供します。

⑦住宅の耐震性の確保を通じて、安心して暮らせる環境づくりを支援します。

⑦住宅対策について、効果的な啓発を実施する必要があることから、多様な方法で啓発を実施するとともに、補助事業を継続して実施します。

<危機管理課>

◆実施状況◆

⑧防犯灯や防犯カメラの整備、自主防犯組織への支援等を通して防犯環境を向上させることができました。

◇今後の方針◇

⑧防犯環境の整備を徹底し、犯罪を減らし、自殺リスクを軽減させます。

<自治振興課>

◆実施状況◆

⑨消費生活相談を実施しました。自殺に関する相談内容は見られませんでした。内容に応じて関係機関と連携を図り、必要な支援を行いました。

⑪外国人住民への支援として、外国人住民の生活相談を実施しました。自殺に関連するような相談内容は見られませんでした。内容に応じて関係機関と連携を図り、必要な支援を行いました。

◇今後の方針◇

⑨⑪引き続き、必要に応じて、専門相談機関を案内するなど、自殺対策に関連する支援をしていきます。

<環境政策課>

◆実施状況◆

⑩公害や生活環境に関する苦情・相談に際し、相談者の行動・言動を通して自殺リスクの有無や可能性がないか配慮しました。

◇今後の方針◇

⑩公害や生活環境に関する苦情・相談に際し、相談者の行動・言動を通して自殺リスクの有無や可能性がないか配慮し、事業を進めます。

＜税務課＞

◆実施状況◆

- ⑫納税相談・生活困窮・多重債務・就労支援・生活資金貸付などの課題解決のために支援担当課へつなぐことができました。

◇今後の方針◇

- ⑫継続して、生活面で深刻な問題を抱えている等の困難が税滞納の原因となっている納税者について、納税相談、生活困窮、多重債務、就労支援等の生活課題解消のために支援担当課へつなぎます。

＜総合窓口課＞

◆実施状況◆

- ⑬DV等の支援措置の相談者について、関係機関と連携を取り、問題の発見・対応にあたることができました。

◇今後の方針◇

- ⑬継続して事業を実施します。新規の支援措置対象者についても同様に、関係機関へ案内できる体制を継続します。

【3 自殺未遂者及び遺族に対する支援】

＜草津保健所・障がい福祉課＞

◆実施状況◆

- ①②自殺企図のあったケースについて、草津保健所と連携し、本人の同意があったケースについては面談や訪問などをして、本人の課題を整理し、各相談機関等と連携して再企図防止に努めました。

- ①広域での自殺対策会議に出席するなど、医療機関の現状などの把握に努めました。

◇今後の方針◇

- ①保健所から連絡のあった対象者について、相談対応や関係者との連携を継続して行い、再企図防止に努めます。

- ①広域での自殺対策会議等に継続して出席し、情報共有に努めます。

＜滋賀県立精神医療センター・障がい福祉課＞

◆実施状況◆

- ①消防署や関係機関からの相談はありませんでした。

◇今後の方針◇

- ①引き続き、消防署や関係機関からの連絡を受けた際に、庁内関係課や関係機関と連携して、情報提供等を行います。

⇒各課及び関係機関において、生きることを支える支援、生きづらさを感じさせる要因を減らす支援が進められており、新型コロナウイルス感染症の影響下でも実施できるよう取り組まれてきました。自殺企図があった事例や、強い希死念慮を抱く事例が発生し、関係機関と連携して対応・支援に取り組んでおり、継続して生きることを支える支援を行っていくとともに、庁内及び関係機関等との連携を強化し、困難や課題を抱えて自殺企図や希死念慮に至る人々を取り残さないようにする必要があります。

## 2 ライフステージ別施策

### 子ども・若者に関する施策

#### 【1 妊産婦・乳幼児に対する支援】

##### <健康増進課、こども家庭センター>

##### ◆実施状況◆

- ①母子健康手帳交付時から保健師、助産師による面談を実施し、こんにちは赤ちゃん訪問、また各乳幼児健康診査、訪問指導等を行いました。各種事業を通じて、妊娠期から切れ目のない支援を実施し、必要に応じて医療機関や、家庭児童相談室、発達支援課等と連携を図りました。

##### ◇今後の方針◇

- ①継続して事業を実施し、必要に応じて関係機関と連携を図り、安心して妊娠、出産、子育てができるよう支援します。

#### 【2 相談しやすい・過ごしやすい環境づくり】

##### <子育て支援課>

##### ◆実施状況◆

- ①滋賀県ひとり親家庭福祉推進員を9名配置し、ひとり親家庭個々の状況に応じた支援を行いました。併せて栗東市母子福祉のぞみ会への活動支援を行いました。
- ①母子・父子自立支援員、女性相談員を配置し、様々な相談に応じるとともに、関係機関との連携を図りながら支援を行いました。
- ①ひとり親家庭が抱える、就労や子育てをはじめとする生活全般に関わって、適切に支援を行うことができました。
- ⑤地域子育て支援センターにおいて、子育て相談を実施し、子育ての悩みのほか、保護者の悩みへの対応を行いました。また、子育て講座により、子育ての疑問や悩みの解消に努めました。
- ⑤子育て相談員が各児童館を巡回して相談に乗るほか、自ら支援を求められないが、支援が必要な保護者を察知し、寄り添い支援につなげています。

##### ◇今後の方針◇

- ①相談経緯や、離職原因を見ていく中で、関係機関につなげる必要が判るなど、第三者の目が入ることで他の要因が判ることも多いので、相談者一人ひとりの状況に応じ、必要な支援につなげる必要があります。
- ⑤男性を対象とした子育て講座の開催に取り組みます。
- ⑤相談員が各児童館に巡回する他、電話での相談や日々の会話から危険性を感じることもあります。職員の気づきが重要になるため、子育て支援員、相談員や主任など、職員の質を高めていく必要があります。

### <図書館>

#### ◆実施状況◆

- ②多様な資料の収集・提供を行いました。
- ②親しみやすい環境の実現のため、季節にあわせた展示等を実施しました。
- ②子どもたちに向けたコーナーが親しみやすい環境となるように、季節にあわせた展示等を実施しました。

#### ◇今後の方針◇

- ②利用の促進に向け、資料の収集、提供、環境整備を継続します。

### <学校教育課>

#### ◆実施状況◆

- ③子どもの状況の把握をするために、関係機関との連携のため、情報共有を行いました。他課との連携により、的確な情報が得られ、早期対応できました。
- ③生徒指導主事会、児童生徒支援主任会のなかで、自殺リスクの発見、対応のための研修を実施しました。担当者に自殺や自殺リスク等に関する情報を周知したほか、各校で広めてもらうように依頼しました。

#### ◇今後の方針◇

- ③継続して事業に取り組み、自殺や自殺リスクの発見、対応についての理解の促進を図ります。

### <生涯学習課>

#### ◆実施状況◆

- ④児童館等を会場に、親子英語や親子リトミック、親子クッキングといった子育てをテーマとした講座を開催しました。

#### ◇今後の方針◇

- ④継続して事業を実施することで、親子のふれあいや親同士のつながりの促進を図ります。

### <幼児課>

#### ◆実施状況◆

- ⑤園において日々の送迎時に保護者と子育てに関する話をする中で、信頼関係を築き、何でも相談できる雰囲気づくりに努めました。その中で、保護者の困りごとを知り、必要に応じて、それぞれにあった支援につなげました。

#### ◇今後の方針◇

- ⑤個別の相談においては、必要に応じて、関係機関につなぐことができるよう各課との連携が必要です。
- ⑤今後さらに保護者同士のつながりを大切にできるように、保護者がつながる場を提

供していく予定です。また、保護者との信頼関係を深めながら、今後も保護者の様々な悩みを出せるようにしていきます。

### 【3 こころの健康・からだの健康づくりの推進】

#### ＜学校教育課＞

##### ◆実施状況◆

- ①各小中学校の生徒指導推進計画のなかで、いのちの大切さを学ぶ教育を位置づけ、実施しました。
- ②生徒指導主事会、児童生徒支援主任会のなかで、自殺リスクの発見、対応のための研修を実施しました。担当者に自殺や自殺リスク等に関する情報を周知したほか、各校で広めてもらうように依頼しました。
- ⑤児童生徒支援室における相談、支援教室を通して、子どもと保護者を支援するとともに、巡回 SC を派遣して悩み等の相談に応じ、助言や援助を行い、自殺リスクの低減を図りました。
- ⑥児童生徒支援主任会のなかで、子どもの心のケアに関する研修を行いました。
- ⑨定期教育相談や日頃の児童生徒観察から把握できる課題について、学期末懇談等の機会を設けて、保護者にフィードバックし、解決に向けて相談しました。保護者に関心を持ってもらうことで、健康な心身の育成につなげることができました。

##### ◇今後の方針◇

- ①継続して、幼少期から相談することの大切さを理解し、悩みやストレスに対処できるようになるための学習の機会をつくります。
- ②継続して事業に取り組み、自殺や自殺リスクの発見、対応についての理解の促進を図ります。
- ⑤今後も児童生徒支援室との連携を強化し、相談や支援教室を通して、子どもと保護者を支援するとともに、巡回 SC を派遣し、悩み等の相談に応じ、助言や援助を行い自殺リスクの低減を図ります。
- ⑥心身の問題を抱える生徒や保護者と関わる機会が多い養護教諭等のスキルアップを継続して図ります。
- ⑨継続して学生本人や家族等と対面で対応する機会を活用し、問題の早期発見・早期対応を図ります。また、各校、児童生徒支援や要保護対策と連携して取り組みます。

#### ＜生涯学習課＞

##### ◆実施状況◆

- ③街頭補導を実施していましたが、コロナ禍では、通常、特別街頭補導は中止を余儀なくされました。その代わりに、小学校区単位で現地集合、解散方式の街頭補導を実施しました。
- ④愛のパトロールはコロナ禍の厳しい状況の中、密を避けながらも実施していただ

ました。

- ④自然体験学習センターにおいて、自然の中で集団生活と宿泊研修を通じて心豊かで明るくたくましい青少年の育成を図りました。新型コロナウイルス感染症の影響で、施設利用・売上げが大幅な減少となり、宿泊は厳しい状況でした。
- ⑦小学校の体育館やコミュニティセンター等を活用し、地域の多様な人々の参画を得て放課後子ども教室に取り組み、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流を促進しました。

#### ◇今後の方針◇

- ③継続して、少年補導委員による街頭補導活動、青少年育成市民会議による愛のパトロール・愛の声かけや子ども 110 番の家事業への支援を行います。
- ④新たな業者に指定管理を 3 年間実施する予定で、事業を継続し、心豊かで明るくたくましい青少年の育成を図ります。
- ⑦継続して放課後子ども教室に取り組み、子どもと地域の交流の機会の充実を図るとともに、放課後子ども教室事業が未実施の学区に対する働きかけを行います。（臨時的に実施予定）

### <子育て支援課、こども家庭センター>

#### ◆実施状況◆

- ⑧各児童館において安心、安全な遊びの場の提供を実施しました。
- ⑩滋賀県中央子ども家庭相談センターや警察等の関係機関および学校・園等との連携や、保護者との面談などを通して、家庭内における状況把握と児童虐待の防止に努めることができましたが、より専門的な対応が迫られることもあります。

#### ◇今後の方針◇

- ⑧放課後の居場所として、子ども達に健全な遊びの場や機会の提供を図ります。
- ⑧小学生事業の回数や内容の見直しを行います。また、館のおもちゃやそれを使った遊び方などを知らせ、居心地のよい雰囲気づくりに努めます。
- ⑩滋賀県中央子ども家庭相談センター等の関係機関、また学校・園との連携を強化し、家庭内における状況把握と児童虐待の防止や子どもに対する支援を図ります。

### <幼児課>

#### ◆実施状況◆

- ⑨給食だよりを月 1 回発行しました。給食を展示して、保護者にも乳幼児における必要な食事内容を見てもらったり、親子の会話にもつなげていけるようにしています。また、管理栄養士による食育研修を実施しています。
- ⑨園での食育計画をもとに夏野菜や米等の栽培活動を実施し、食育を保育の中で大事にしています。コロナ禍であるためクッキング活動はできませんが、収穫したものを家庭に持ち帰り、園と家庭がつながり合いながら食育の推進を深めています。

◇今後の方針◇

- ⑨園での給食の様子など保護者に伝えていきます。
- ⑨年長児には、食材の栄養素の話を分かりやすく伝えるなどして、食と健康をつなげていきます。

＜発達支援課＞

◆実施状況◆

- ⑪子育ての悩みや困難の解決に向け、ペアレント・トレーニングを開催しました。
- ⑪たんぽぽ教室・幼児ことばの教室では、家庭でも保護者が支援者と同じ支援を子どもに行えるよう、保護者を交えた中で子ども達の発達支援を実施しました。
- ⑪関係機関と連携を図りながら、発達相談を通して保護者支援を実施しました。

◇今後の方針◇

- ⑪たんぽぽ教室・幼児ことばの教室・発達相談については継続して実施し、保護者の不安の解消に努めます。
- ⑪ペアレント・トレーニングを実施します。たんぽぽ教室・幼児ことばの教室を修了した方と相談を受けた方を対象とし、継続した支援に努めます。

【4 SOS の出し方等、学校教育の推進】

＜学校教育課＞

◆実施状況◆

- ①③④児童生徒支援主任会を実施しており、各校において支援を要する児童生徒への支援につながりました。
- ②⑤市内小中学校に長期休業前に相談カードを配布しました。
- ⑤いじめ等対策参事員と指導主事による学校訪問を実施しました。

◇今後の方針◇

- ①SOSの出し方に関する教育を継続して実施し、助けを求める方法や助けを求めているという意識の浸透を図ります。
- ②相談先一覧等のカードやリーフレットの配布を行い、教職員自身ならびに児童生徒向けの支援策の普及啓発を継続して徹底します。
- ③④支援を要する子どもの早期発見に取り組みます。
- ⑤いじめを受けている児童生徒の早期発見と対応を行うだけでなく、いじめを受けた子どもが周囲に助けを求められる取り組みを継続します。

【5 児童生徒・教職員の自殺リスクの軽減】

＜学校教育課＞

◆実施状況◆

- ①いじめ等対策参事員と指導主事による学校訪問を行い、行事や学習のなかにおける

いじめに関する取り組みについて確認しました。

- ②道徳が教科化された趣旨に基づいて、子どもの人格の基盤を養い、困難な問題に主体的に対処できる力を養いました。
- ③教職員のストレスチェックを行い、個々の状況を把握するとともに、業務の見直しを進めました。
- ④市内中学校にスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒の支援を通して、自殺リスクの低減を図りました。

◇今後の方針◇

- ①継続して、いじめを防止することの重要性に関する啓発を図ります。
- ②今後も、各校において児童生徒がよりよく生きるための基盤の育成を図ります。
- ③教職員のストレスチェック受検率が 8 割を切っていることから、受検への意識を高める必要があります。
- ④スクールソーシャルワーカーとの連携を深め、児童生徒や保護者の抱えている様々な課題の早期発見に努め、自殺リスクの軽減を図ります。
- ④家庭環境等に課題を抱える児童生徒の支援を行います。支援を必要とする児童生徒が多く、専門職員の拡充が必要です。

⇒保健師、助産師による面談など、妊娠・出産期からつながり、途切れのない支援が実施されています。産後うつをはじめ、妊娠・出産期には様々な課題が生じる恐れがあることから、引き続き安心して出産・子育てできる環境づくりが必要です。

⇒各種相談事業を実施する中で、関係機関と連携し、各家庭に応じた支援を実施しています。相談事業だけでなく、電話での相談や日々の会話から危険性を感じるケースもあり、職員の気づきが重要であることから、相談員をはじめとした職員の質をさらに高めていく必要があります。

⇒各小中学校でいのちの大切さを学ぶ機会を設けているほか、教職員に対する啓発や研修等を通じ、子どもや保護者を見守る体制づくりに取り組んでいます。継続して学生本人や家族等と対面で対応する機会を活用し、問題の早期発見・早期対応に取り組むとともに、生きることの支援を児童生徒支援や要保護対策と連携して取り組む必要があります。また、子どもや保護者だけでなく、教職員が悩みごとや困りごとを抱え込まない環境づくりに取り組むことが重要です。

## 壮年期に関する施策

### 【1 勤務問題等による自殺のリスクを生み出さないための労働環境づくり】

#### ＜商工観光労政課＞

##### ◆実施状況◆

- ①「働き方改革に取り組む事業主への支援」「改正育児・介護休業法」「男女共同参画の職場での取り組み」について記載されたチラシを市内事業所に配布しました。
- ③事業所に対し、企業訪問活動時にパワハラ対策資料を送付し、法制度の周知啓発を図りました。

##### ◇今後の方針◇

- ①企業へ訪問する推進班員の学習機会の提供が必要です。
- ③職場におけるパワーハラスメント対策やセクシャルハラスメント対策を継続して実施し、安心して働ける環境づくりを推進します。

#### ＜商工観光労政課・大津労働基準監督署＞

##### ◆実施状況◆

- ②事業主を対象に、雇用する労働者の休業・雇用問題・年金相談、労使間のトラブル、労働条件の整備等の相談を実施していますが、相談実績はありませんでした。

##### ◇今後の方針◇

- ②労務相談を受けた場合は、適切な窓口（労働局等）へつなげます。

### 【2 相談支援、人材育成の充実】

#### ＜社会福祉課＞

##### ◆実施状況◆

- ①生活困窮者に対する課題解決に向けた支援を行うため、関係課等で組織した生活困窮者自立支援調整会議を開催し、連携体制を整え、支援についての協議を行いました。関係課で互いに情報共有し、各案件について多面的に解決のための協議が図れました。
- ③生活困窮者に対する課題解決に向けた支援を行うため、関係課等で組織した生活困窮者自立支援調整会議に、生活保護担当職員も参加することで、連携を図り、支援についての協議を行いました。
- ⑤相談案件等があれば窓口で受け付け、場合によって関係課とともに相談支援を協議しました。様々な相談案件に対して、関係課と連携しながら必要な支援につなげることができました。

##### ◇今後の方針◇

- ①生活困窮者等の関連窓口を充実させるために、継続して様々な相談事業を実施するとともに、関係課、関係機関で情報共有を図り、各課題の進捗状況を把握し、課題解

決に取り組んでいきます。

- ③生活上の課題に関連する相談に対応できるよう関係課、関係機関で情報共有を図り、各課題の進捗状況を把握し、課題解決に取り組んでいきます。
- ⑤支援を必要とする人が、相談できないまま孤独・孤立に陥ることがないように、複雑化・複合化する課題に対応できる相談体制の充実を図るとともに、地域、関係機関、団体、事業所等との協働のもと、参加支援、地域づくり支援に取り組めます。

#### ＜税務課＞

##### ◆実施状況◆

- ②滞納金の徴収担当職員に対するゲートキーパー研修を実施し、ゲートキーパーの役割の認識を向上するとともに、ゲートキーパーとしての取り組みを実施することができました。
- ④生活面で深刻な問題を抱えている等の困難が税滞納の原因となっている納税者について、納税相談、生活困窮、多重債務、就労支援等の生活課題解消のための支援担当課につながることができました。

##### ◇今後の方針◇

- ②④相談対応時に自殺リスクを抱えた滞納者を支援につなげる取り組みを継続します。

#### ＜保険年金課＞

##### ◆実施状況◆

- ④年金制度案内・広報紙による市民への周知を図ったほか、窓口対応に加え、必要に応じて他の相談・支援窓口と連携しました。

##### ◇今後の方針◇

- ④各種納付相談を「生きることの包括的な支援」のきっかけと捉え、様々な支援につなげられる体制づくりに継続して取り組みます。

### 【3 自立支援との連携】

#### ＜社会福祉課＞

##### ◆実施状況◆

- ①関係課等で組織した生活困窮者自立支援調整会議を開催し、課題案件について協議を行いました。民生委員・児童委員等から連絡のあった案件についても協議しました。
- ②自立した生活が営まれるよう、生活困窮者に対し、相談員による自立相談や就労支援、住居確保給付金の支給による住居の確保を行い、日常生活や社会生活における自立を支援しました。

##### ◇今後の方針◇

- ①②複雑化、多様化する相談案件に対して、複数の関係課、関係機関と連携して対応し

ていきます。

- ②物価高騰問題も継続して生活に影響しており、引き続き生活困窮者に対する自立相談支援、就労支援等の必要な支援を行っていきます。

#### <商工観光労政課>

##### ◆実施状況◆

- ③個々の就労阻害要因の解決につながるよう、関係各課・機関と連携し支援に結び付けました。

##### ◇今後の方針◇

- ③継続して就労支援と自殺対策事業とを連動、連携させることにより、生きることを支援します。

#### <保険年金課>

##### ◆実施状況◆

- ④国民健康保険各証発行の業務手順において、滞納に至る事情の照会や該当者へ来所相談の勧奨を行い、面談機会の設定に努めました。

- ④保険証、限度額適用認定証の交付時や保険税の納付相談時に、生活状況や体調面の聞き取りを行い、必要に応じて関係機関につなぎました。

##### ◇今後の方針◇

- ④継続して保険証、限度額適用認定証の交付時や保険税の納付相談時に、生活状況や体調面の聞き取りを行い、自殺のリスクの発見に努めます。

⇒企業訪問等の機会を活用し、パワハラ対策の周知啓発等に取り組んでいます。過重労働をはじめとした就業・労働等の困難によって追い込まれることのないよう、継続した啓発とともに、職場におけるパワハラ対策やセクハラ対策を継続して実施し、安心して働ける環境づくりを推進していく必要があります

⇒生活困窮者に対する課題解決に向けた支援を行うため、関係課等で組織した生活困窮者自立支援調整会議に、生活保護担当職員も参加することで、連携を図り、支援についての協議を行っています。継続して様々な相談事業を実施するとともに、生活困窮等、制度の狭間の問題のように多様化・複雑化する課題に対応できるよう、関係課、関係機関で情報共有を図り、関係各課の進捗状況を把握し、課題解決に取り組む必要があります。

## 高齢者に関する施策

### 【1 地域包括ケアと連携した自殺対策の推進】

#### <長寿福祉課>

##### ◆実施状況◆

- ① 3圏域に地域包括支援センターを設置したことにより、身近に相談しやすい体制の構築が図れました。また、関係機関との連携を図ることができました。
- ① 相談支援事業にて蓄積された課題を生活支援コーディネーターや認知症地域支援推進員と情報を共有しました。
- ② 地域包括支援センターとともに認知症のある個別ケースを基に圏域の課題を整理することができました。
- ③ 地域ささえあい推進員（生活支援コーディネーター）が地域の課題や社会資源を把握しつつ、支え合いの仕組み作りを進めるよう働きかけを行いました。
- ④ 認知症になっても安心して暮らせる地域の実現に向け、認知症サポーター養成講座を開催しました。コロナ禍のため市民団体からの依頼は少なかったですが、小学校、民間企業を中心に感染予防対策を図りながら開催できました。

##### ◇今後の方針◇

- ① 地域包括支援センターの周知を図るとともに、相談支援スキルの向上を図ります。
- ③ コロナ禍により、人とのつながりが途切れないような地域づくりを引き続き行います。
- ④ 認知症のある本人の家族の介護負担が軽減するよう認知症短期集中支援チームによる支援など引き続き行います。
- ④ 認知症がある本人や家族が悩みを共有したり相談できるよう、身近な地域で認知症カフェを取り組む事業所の拡大を図る必要があります。

#### <社会福祉課>

##### ◆実施状況◆

- ③ 地域住民の相談窓口でもある、民生委員児童委員やコミュニティソーシャルワーカー等との連携を図り、情報共有を行い、課題解決に向けて取り組みました。

##### ◇今後の方針◇

- ③ 地域住民、各関係者間で情報共有し、様々な課題の把握に努め、適切な支援につなげていきます。
- ③ 継続して関係者間で情報共有することで地域の実態の把握に取り組み、漏れのないサービス提供につなげます。
- ③ 社会福祉協議会ボランティア市民活動センターに対して、地域福祉、市民社会貢献活動への支援を行う必要があります。

### ＜自治振興課＞

#### ◆実施状況◆

- ③社会福祉協議会ボランティア市民活動センターに対して、補助金交付を通じて地域福祉、市民社会貢献活動への支援を行いました。

#### ◇今後の方針◇

- ③地域における様々な課題解決のため、引き続き地域住民と民生委員・児童委員、ボランティア団体、社会福祉法人、NPO 団体、社会福祉協議会、行政等と連携し、互いに必要な情報交換や情報共有を図り地域の課題を解決する仕組みづくりを行っています。

## 【2 高齢者の健康維持・増進に向けた取り組みの推進】

### ＜長寿福祉課＞

#### ◆実施状況◆

- ①高齢者自らの企画により、生きがい実践交流大会・手作り作品展、グランドゴルフ大会、健康ウォーキング等を実施しました。
- ③高齢者一人ひとりが主体的かつ継続的に身近な地域において介護予防（筋力運動）活動に取り組むことができるよう、様々な団体・個人との連携を積極的に図り、いきいき百歳体操の啓発や実践団体の育成・支援を行いました。

#### ◇今後の方針◇

- ①引き続き、栗東市高齢者の生きがいと健康づくり事業に係る各行事を開催予定です。
- ①老人クラブの会員数減少が課題であるので、今後も活動を通して会員増加のアプローチを図ります。
- ③コロナ禍と活動団体の高齢化により活動が縮小傾向にある団体があるため、地域住民主体の通い場の活性化について検討が必要です。

### ＜スポーツ・文化振興課＞

#### ◆実施状況◆

- ②スポーツ推進委員が中心となって行う各学区での「みんなのスポーツ講習会」について、可能な限りの感染症対策を講じながら実施しました。

#### ◇今後の方針◇

- ②新型コロナウイルス感染症の影響は減ってきたものの、事業を行う場合においては感染予防対策を講じた内容で、各種事業の取り組みを検討する必要があります。

### 【3 高齢者の社会参加の促進及び孤独・孤立の防止】

#### ＜子育て支援課＞

##### ◆実施状況◆

- ①子育てサークル活動として、シルバー人材センターの「おでかけシルバーママパパ」が、各児童館において世代間交流活動を実施しました。子育て中の保護者が、子育て経験が豊かな高齢者と交流の機会を持つことにより、子育てに係る不安感の解消につながりました。

##### ◇今後の方針◇

- ①「おでかけシルバーママパパ」をはじめとした子育てサークル活動を継続し、子育てに係る保護者の不安感の解消を図ります。
- ①地域の特徴を活かし、民生委員児童委員や地域のボランティアとの交流を深め、子育て経験豊かな方とのふれあいや連携を行います。

#### ＜幼児課＞

##### ◆実施状況◆

- ①未就園児保護者の子育て支援、園児と地域のお年寄り世代との関わりを持つことにより、地域とのつながりを作ることができました。
- ①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行き来する交流は困難な状況下では、手紙を渡すなどの世代間交流を実施したほか、拡大防止に努めながら、子育て支援事業の開催、地域の方との栽培活動等の世代間交流を実施することができました。

##### ◇今後の方針◇

- ①世代間交流ができる内容や方法の工夫をして、地域の中での高齢者と子ども、保護者とのつながりが大切にできる取り組みを実施する必要があります。

#### ＜生涯学習課＞

##### ◆実施状況◆

- ①スタッフの多くを高齢者の方々に担っていただき、放課後子ども教室を実施しました。
- ⑦「いつでも どこでも だれでも いつまでも」の生涯学習の実践を目指し、高齢者を対象としたはつらつ教養大学を各学区コミュニティセンターで実施しました。

##### ◇今後の方針◇

- ①放課後子ども教室を継続し、多世代交流を促進するとともに、スタッフの募集や未実施学区への働きかけを行います。
- ⑦はつらつ教養大学を継続して実施し、高齢者の生きがいづくりを図ります。

#### ＜自治振興課＞

##### ◆実施状況◆

- ①自治会が実施する地域ふれあい敬老事業（主管課：長寿福祉課）や地域コミュニティ

団体が実施する交流事業等への交付金交付を通じて、自治会や地域コミュニティによる高齢者の社会参加を促す活動への支援を行いました

◇今後の方針◇

- ①引き続き、自治会が実施する地域ふれあい敬老事業や地域コミュニティ団体が実施する交流事業等に対して、引き続き高齢者の社会参加を促す活動への支援を行っていきます。

#### ＜長寿福祉課＞

##### ◆実施状況◆

- ②⑤老人クラブ連合会に対して活動費の補助を実施し、地域の高齢者が仲間づくりを基礎に相互に支え合い社会貢献をする活動を支援しました。

◇今後の方針◇

- ②⑤コロナ禍でしたが、感染防止対策を講じながら工夫して活動を行っており、次年度も引き続き、活動助成金による支援を行います。
- ③活動補助金による支援を継続して行い、高齢者のボランティア活動をはじめとした様々な活動を促進します。

#### ＜商工観光労政課＞

##### ◆実施状況◆

- ④補助金を交付し、高齢者就労をはじめとするシルバー人材センターの取り組みを支援しました。

◇今後の方針◇

- ④シルバー人材センターへの補助を継続し、高齢者の就労機会を提供します。

#### ＜保険年金課＞

##### ◆実施状況◆

- ⑤⑥年金制度や後期高齢者医療制度の案内や広報紙による市民周知に取り組みました。  
また、窓口対応に加え、必要に応じて他の相談・支援窓口と連携しました。

◇今後の方針◇

- ⑤⑥継続して年金制度や後期高齢者医療制度の周知・啓発に取り組み、生活の安定化を図ります。

⇒3圏域に地域包括支援センターを設置し、身近に相談しやすい体制を構築したり、地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）と連携して地域の課題や社会資源を把握し、地域で支え合う仕組みづくりを進めました。高齢になっても、認知症になっても安心して

暮らせる環境づくりに継続して取り組む必要があります。

⇒いきいき百歳体操の啓発・支援をはじめ、高齢者主体の健康づくりや生きがいづくりの促進に取り組みました。健康状態の悪化によって高齢者の自殺リスクが高まることのないよう、家でもできる健康づくり、交流を通じて生きがいを感じられる機会を充実する必要があります。

⇒児童館や放課後子ども教室等の場や機会を活用して、高齢者と子どもが交流する機会を創出しました。高齢者が悩みを抱えたまま孤立したり、孤独だと感じたりすることがないよう、地域でのつながりや多世代の交流機会を充実する必要があります。